

二ともに生きる暮らしをめざして二
尾張地域福祉を考える会
まごころサービス尾張センター

コスモス通信

平成6年 5月2日 No. 11
〒491 一宮市花池4丁目4番22号
☎ 0586-45-9715

記念講演会

いろんな
メッセージを
いただきました



愛知県の長久手村の山に「ごじから村」と称する杜があり、そこには、特別養護老人ホーム「愛知たいようの杜」、ショートステイ・デイサービスセンター・介護支援センター、幼稚園、託児所、介護福祉士専門学校「愛知福祉学院」が、共にあります。この杜の理事長である吉田一平氏は、「ごじから村」は、**みちくさが出来るところ、みちくさを許せるところ**、そういうところがあっても良いのではないかと、思っ、この村を作られたそうです。ここに集まるお年寄りや子供、若者達は、みんな自然を相手に、自由に暮らしています。

サラリーマンから転身されたとのことですが、「夢があればやれる。心があればやれる」と素人の発想こそ大事なものと話される。

特別養護老人ホームを「らくちんホーム」と名付け、入所されているお年寄りを「もり人さん」とよび、建物は自然にあわせて作られ、あそびの空間をたくさん設け、居室より、すれちがう場所を、みんなが語り合える場所を広くし、家庭の匂いを、と、洗濯の音、炊事の音が居室で聞こえるように同じフロアに作られているように、たくさんの工夫がされているようです。

この山のでこぼこ道は、時間に追われて暮らしている殆どの人達が、気付こうとしない石ころも、水たまりも、雑草も、虫や鳥も、ここで毎日ゆっくり暮らしている子供やお年寄り達には大切な仲間のように。

四季折々の自然をゆっくり楽しみ、自然の中に生かされていることを学び、それに気付いていく。そして人にゆっくり生きることの楽しさを知ってもらう。そうすれば、自然に他の人にも優しくなれる。「ゆっくりする

ことに価値がある。

結果よりプロセスを大切にしたい」と、主張されていました。



去る四月二十日(水)「尾張地域福祉を考える会」の第一回の総会が、スポーツ文化センターにて、利用会員、賛助会員、協力会員の皆様の出席のもと開かれました。

総会後、「愛知たいようの杜」理事長吉田一平氏をお迎えして、記念講演会もあわせて行いました。

最初に、この十カ月間の経過報告があり、続いて一九九三年度の活動・事業報告、並びに会計報告及び一九九四年度の活動・事業計画案、予算案の審議が行われました。

尚、今年度の活動には、ケア活動の他、五月から七月にかけて養成講座の実施、日本ケアシステム協会の全国大会への参加、九月には、開設一周年記念の集いを、又、研修会、他団体との交流会、市・社協の行事に参加等各機関との関係を強めて行く等の計画が決まりました。

そして、新役員の選出がされ、今年も「安心の窓口」が地域に定着していく努力を重ねていくこと。その為に、お互いに助け合う、支え合う活動を、初心忘れる事なくやっていこう、と確認しあって終了しました。

◆◆◆ 新年度は一三九名でスタート ◆◆◆
四月からの新年度も、たくさんの皆様に継続会員として登録をしていただきました。
新入会員の皆様と合わせて一三九名のスタートです。

5月の予定

- 2日(月) コスモス通信発行
- 一宮ボランティア 嶋、野
- 6日(金) 運営委員会
- 9日(月) 定例会 午前10時~11時30分
ケア会議 午後事務所
- 11日(水) 運営委員会
おひるの里モンキーパークへ付き添いボランティア
- 12日(木) - 一宮ボランティア 小野、伊藤
- 13日(金) 養成講座 開講
- 16日(月) - 一宮ボランティア 田、加藤
- 18日(水) 運営委員会
- 19日(木) - 一宮ボランティア 榎、久保
- 20日(金) 養成講座
- 23日(月) - 一宮ボランティア 上野、河合、岩本
- 25日(水) 運営委員会
- 26日(木) - 一宮ボランティア 山田、岩田
- 27日(金) 養成講座
- 師在宅療養支援システム研修者会議
- 30日(月) - 一宮ボランティア 川崎、松本

↑↑↑ 6月の定例会は ↑↑↑

6月6日(月) 午前10時~11時30分 思いやり会館

この日は、ケアはお休みです。事務所も午前中はお休み致します。利用会員さんご承知下さい。協力会員さんは必ずご出席下さい。

3月会員登録状況

協力会員	50人
利用会員	16人
賛助会員	62人
計	128人

3月活动状況

活動件数	6件
活動人数	17人
活動時間	123時間

尾張地域福祉を考える会

「まごころサービス尾張センター」と
ボランティア部「コスモス」の

第一回総会を開催